



Vladimir Shafranov Trio

Vladimir Shafranov (Pf)
鎌倉規匠 (Ds)、楠井五月 (B)

SASEBO

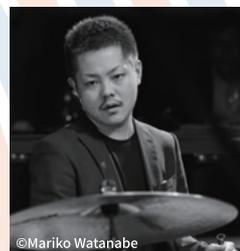


AT ARKAS SASEBO 2019 VOL.29

29回目を迎える佐世保JAZZ。今年も様々なアーティストの演奏をお楽しみください!



©Yosuke Komatsu (ODD JOB)



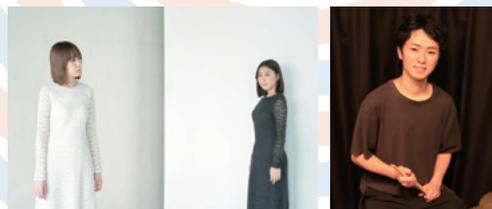
©Mariko Watanabe

渡辺香津美ジャズ回帰プロジェクト

渡辺香津美 (Gt)、井上銘 (Gt)、川村竜 (B)、山田玲 (Ds)



佐世保ジャズ スタディビッグバンド



Eiko and Eiko featuring 山近拓音

Eiko (Pf)、Eiko (Pf)、山近拓音 (Ds)



TOKU ゲスト 今陽子

TOKU (Vo&F.Hr)、今陽子 (Vo) ほか

2019.10.6

SUN

開場14:00 / 開演14:45 (終演予定 21:00)

会場: アルカスSASEBO 大ホール (入退場は自由です)

※当日受付にて整理券を発行いたします(チケット1枚につき2席まで)

[全席自由] 大人 / 4,000円 ペア券 / 7,000円 (各当日500円増) 学生(小~高校生) / 無料

前売券
発売所

【全 国】チケットぴあ:セブンイレブン(Pコード150-002) / ローソンチケット:ローソン(Lコード83592) / イープラス:ファミリーマート(<https://eplus.jp>)
【佐世保】アルカスSASEBO / カワシモレコード / 佐世保玉屋 / 佐世保観光情報センター / JAZZ SPOT いーぜる
【波佐見】JAZZ SPOT ダグ 【松浦】メガネの百武

- 主催:佐世保JAZZ実行委員会 ■共催:佐世保商工会議所青年部 / アルカスSASEBO ■協賛:親和銀行 / 十八銀行 / KTNテレビ長崎 / FMさせぼ
- 後援:佐世保市 / 佐世保市教育委員会 / 佐世保観光コンベンション協会 / 佐世保旅館ホテル協同組合 / NBC長崎放送 / NCC長崎文化放送 / NIB長崎国際テレビ / FM長崎朝日新聞社 / 西日本新聞社 / 読売新聞西部本社 / 毎日新聞社 / 長崎新聞社 / ライフさせぼ / TVSテレビ佐世保 / アサヒビール(株)
- 協力:佐世保ジャズファンクラブ / 若松で音楽を聴く会



[お問い合わせ] 佐世保JAZZ実行委員会: TEL0956-25-1170(いーぜる)

国際運輸: TEL0956-39-0011

SASEBO JAZZ AT ARKAS SASEBO 2019

vol.29

渡辺香津美ジャズ回帰プロジェクト

渡辺香津美(Gt)



©Yosuke Komatsu (ODD JOB)

名実ともに日本が世界に誇るトップ・ジャズ・ギタリスト。17歳で衝撃のアルバムデビュー。驚異の天才ギタリスト出現と騒がれて以来、ジャズフィールドに留まらない「ギターの可能性」を探求し続け今に至る。その速いテンポで繰り出される魅惑のアドリブと芳醇な旋律、演奏技術を緻密に組み合わせることで、音の一つ一つに豊かな表現力を含ませ独自の「カズミサウンド」を創り出すことでも定評がある、まさしくワン・アンド・オンリーの存在。

現在はジャズ・フュージョンにおける多様なプロジェクト、特に2019年に10周年を迎えた「ジャズ回帰プロジェクト」と並行し、海外からもソロおよび自身のプロジェクトで招聘され、国内と半々のバリューで活動を展開中。エッセイ執筆、テレビ、ラジオ等のメディアでの露出も多く、『いち国民いち楽器』を提唱し、広く音楽文化に貢献。洗足学園音楽大学ジャズコース客員教授。

井上銘(Gt)



1991年5月14日生まれ。神奈川県川崎市出身。15才の頃にギターをはじめ、高校在学中にプロキャリアをスタート。2016年4月、渡辺香津美氏のギター生活45周年のアルバム「Guitar Is Beautiful KW45」に参加。ソロギターライブも積極的に実施するなどSTEREO CHAMPをはじめ自身発信のプロジェクトでの活動も活発になっている。2019年4月よりFMヨコハマにて初のラジオレギュラー番組「Midnight Jammin'」(毎週金曜日24:30~25:00)がスタート。

川村竜(B)



1982年生まれ。2004年にハワイで開催された国際コントラバスフェスティバルにおいて日本人初、最年少で最優秀賞を受賞。国内外のミュージシャンから厚い信頼を得ている。ベーシストとしてだけでなく、作編曲家、プロデューサーとしても様々な作品の音楽を手掛けている。

山田玲(Ds)



©Mariko Watanabe

1992年 鳥取県生まれ。アマチュアドラマーの父の影響により幼少の頃から音楽に親しみ、高校卒業後上京する。これまでに小林茂文氏、猪俣猛氏、本田珠也氏、Gene Jackson氏に師事し、18歳よりプロ活動を開始。2019年渡辺香津美トリオで北京BlueNoteに出演。バックミュージシャンとしては、ペギー葉山、渡辺真知子、伊東ゆかり、サーカス(chorus group)、ゴスペラーズ、小野リサ、綾戸智恵、矢野顕子などと共演。自身のバンド"Kejime Collective"でも活動中。

Vladimir Shafranov Trio

ウラジミール・シャフラーノフ(Pf)



1948年レニングラード生まれ。日本における「ヨーロッパ・ピアノ」の認識に最も大きな影響を与えた、フィンランド在住の北欧を代表するピアニスト。絶妙なスウィング感と、北欧の哀愁漂うリリズムを併せ持つその演奏は、ジャズピアノの理想を奏でている、と言っている。ジャズに込められた喜び、哀しみ、力強さなど、様々な表情を感情豊かに全身で表現する、まさに「ジャズ・エンターテイナー」と言える存在である。

鎌倉規匠(Ds)



8月25日北九州市出身。ロンドンブルネル大学、横浜 洗足学園音楽短期大学ジャズコース、ボストンバークリー音楽大学を経て、現在日本を拠点に活動を行う。現在はドラマーとしてのみならず人・街・港同士をJazzでつなぐプロジェクト団体『音楽都(onbeat)』を始動し、Jazzを使った地域活性活動の企画運営等に精力的に取り組んでいる。<http://kishokamakura.com>

楠井五月(B)



1985年5月16日 北海道旭川市生まれ。幼少期にエレキトーン、中学からエレキベースを演奏し、法政大学ジャズスタディクラブに入部後ポールチェンパースに憧れコントラバスを弾き始める。井上陽介氏に師事し、在学中よりプロとして演奏活動を開始。ジャズの伝統に根差した強靱なスウィングビートでバンドサウンドを固める。自身のバンド「ピアノトリオG」での活動も精力的に行っている。

佐世保ジャズスタディビッグバンド

2017年4月、ジャズ生誕100年の節目に、佐世保のビッグバンドジャズ音楽の普及と鑑賞機会の提供を目的に、長崎県北では唯一のビッグバンドとして結成した「佐世保ジャズスタディビッグバンド」です。活動は月2回の練習をベースに、イベント出演やパーティーでの演奏を行っています。メンバーの年齢層も幅広く、20代から60代まで、世代を越え、ジャズ音楽の演奏を通じ交流を深めながら日々の練習・本番に励んでいます。“音楽の街・ジャズの街～佐世保!”と呼ばれるに相応しい魅力的な街「佐世保」のビッグバンド演奏をお楽しみください。

2019.10.6 SUN 開場 14:00
開演 14:45 (終演予定 21:00)

出演順と出演時間

14:45～ オープニング

15:00～ 佐世保ジャズスタディビッグバンド

15:55～ Eiko and Eriko featuring 山近拓音

17:10～ Vladimir Shafranov Trio

18:25～ TOKU ゲスト 今陽子

19:45～ 渡辺香津美ジャズ回帰プロジェクト

TOKU ゲスト 今陽子



TOKU (Vo&F.Hr)

日本唯一のヴォーカリスト&フリーゲルホーンプレイヤー。父親の影響でノンジャンルで音楽に親しみ、中学時代にプラスチックバンドで初めての楽器コレットを手にする。2000年1月アルバム“Everything She Said”でソニー・ミュージックよりデビュー。デビュー当初から注目を集め、その年の8月には早くもブルーノート東京に出演。また、アルバムはアジア各国でもリリースされ、積極的に海外での公演も行っている。

今陽子 (Vo)



幼少よりジャズ・ポップスを好み、作曲家いずみたく氏に師事し、15歳でソロデビュー。16歳でピンキー&クラーズを結成すると、デビュー曲「恋の季節」がダブルミリオンを記録し、17週連続でオリコン1位となり、数々の音楽賞を受賞。解散後、1981年に単身渡米し、ニューヨークで歌・ダンス・語学などを勉強する。帰国後は、ミュージカル、舞台、ライブ、テレビなど多岐に渡って現在も活躍中。

Eiko and Eriko featuring 山近拓音

鈴木瑛子 (Pf)



2012年、武蔵野音楽大学卒業(ピアノ科専攻)。数年間ピアノ講師として勤務し、2015年よりバークリー音楽大学に奨学金を得て留学。2018年ジャズ作曲専攻を首席で卒業。2017年にBarnes and Noble賞、2018年にToshiko Akiyoshi賞受賞。バークリーのトップビッグバンド Concert Jazz Orchestraの定期演奏会に作品が選ばれ演奏される。グラミー受賞作曲家のマリアシュナイダーのワークショップに代表生徒として参加する。これまで、渡邊規久雄、白崎彩子、Ayn Inserto、Scott Free、Greg Hopkins各氏に師事。

石倉江里子 (Pf)



都立芸術高校を卒業し、東京音楽大学に入学。18歳より本格的にジャズをはじめ。2015年、バークリー音楽大学のワールドツアーにて奨学金を獲得。パフォーマン専攻。大学の模範生徒にも選ばれ、ピアノ科を代表するなどしている。2018年、Contemporary Classical Performance賞(バークリー音楽大学より)受賞。同年に大学を卒業。これまで、クラシックピアノを高木早苗、武田真理、Maxim Lubarsky各氏に、ジャズピアノをNando Michelin、Tiger大越、JoAnne Brackeenの各氏に師事。

山近拓音 (Ds)



1998年6月28日生まれ。長崎県佐世保出身。2010年にNHKスーパーキッズコンサートに出演、NHK BSで放送される。2011年、国内音楽雑誌5誌が主催する最強プレイヤーズコンテスト2011ドラム ニューエイジ部門に初出場でグランプリ獲得。2017年にアメリカボストンバークリー音楽大学に進学する。現在ロックのみならずジャズやラテンポップス等のあらゆるジャンルに挑戦し、ファンクロック、ジャズ、R&B、ヘヴィメタルなどのバンドで活躍中。